

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1211.50	2021/4/5
High	1247.00	2021/4/7
Low	1191.94	2021/4/9
Close	1203.50	2021/4/9

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4309.00	2021/4/5
High	4401.00	2021/4/7
Low	4211.00	2021/4/9
Close	4242.00	2021/4/9

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2666.00	2021/4/5
High	2701.00	2021/4/6
Low	2604.00	2021/4/7
Close	2642.00	2021/4/9

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9498.00	2021/4/5
High	9549.00	2021/4/6
Low	9190.00	2021/4/7
Close	9314.00	2021/4/9



ニュースエクスプレス

米英のプラチナETF残高が増加

プラチナETF（上場投信）残高は4月6日の米国で40.11トン（2月末39.57トン）、1日の英国で19.26トン（同19.11トン）、南アフリカで16.36トン（同16.37トン）となった。景気回復期待の高まりを受けて米国と英国で投資資金が流入した。引き続き買われれば2月の戻り高値を試すとみられる。

一方、米商品先物取引委員会（CFTC）の建玉明細報告によると、3月30日時点のニューヨーク・プラチナの大口投機家の買い越しは3万0606枚となり、2月16日の3万6577枚をピークとして縮小した。景気回復期待が高まれば買い意欲が強まるとみられる。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB0726Q0X00C21A4000000/>

東洋炭素が燃料電池向け電極触媒を開発、炭素材料に白金を固定し低価格化

東洋炭素は、触媒の土台となる「担体」と呼ばれる炭素材料に白金を固定（担持）した燃料電池向け電極触媒「MH-18-PT50」を開発した。4月1日に試薬を発売する。顧客の担持工程を短縮できるほか、白金を従来比2-3割減らしても同程度の性能を発揮でき、燃料電池の低価格化に貢献できる。2030年度までに従来品とMH-18-PT50を合わせた売上高で5億円を目指す。

触媒の担体に使う炭素材料「CNovel（クノーベル）」の新製品として、同社で初めて白金固定済みの製品を商品化した。エヌ・イーケムキャット（東京都港区）と共同開発した。

燃料電池用触媒の担体は、カーボンブラックが主流。表面に孔を持つものと持たないものがあり、外殻に白金が担持される。

クノーベルは「メソ孔」と呼ばれる直径2ナノ-50ナノメートル（ナノは10億分の1）の細孔を持つ炭素材料で、メソ孔同士がつながった「連通孔」が特長。耐久性にも優れるという。クノーベルはこの連通孔内部に白金を担持でき、白金が脱落しづらく、触媒の能力が保たれやすいため、白金を従来より減らしても同程度の性能を発揮で

イリジウム6000ドル超え 半年で4倍 水素生成で需給逼迫観測

電子部品などに使う貴金属の一種、イリジウムの国際相場が騰勢を強めている。指標となる欧州渡しのスポット価格は1トロイオンス6140ドルと半年前の4倍に上昇。初めて6000ドルを上回り、最高値を更新した。主産地の南アフリカで供給不安が続くうえ、脱炭素化のカギとされる水素関連の需要拡大も意識されて高騰に拍車がかかっている。

イリジウムは白金（プラチナ）の副産物。年間産出量は白金の200トン程度に対してイリジウムは約7トンにとどまる。産出の9割を占める南アでは2020年から供給懸念が強まっている。白金最大手の鉱山トラブルで、イリジウムを含む白金族の供給が大きく減った。

さらに南アでは新型コロナウイルスの変異型の感染が急拡大。欧州では同国からの航空便を制限する動きも出たことから、物流停滞への懸念も高まった。

需要は拡大観測が出ている。イリジウムは電子部品や自動車用のエンジン点火プラグなどが主用途。最近では再生可能エネルギー由来の電力を利用した水素の生成装置に使う電極触媒用の素材としても注目される。世界的な脱炭素の流れが強まる中、新規需要の急増が見込まれる。「先行きの需給逼迫を予想して仕入れる実需が多い」（日本貴金属マーケット協会の池水雄一氏）という。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB08BU0Y1A400C2000000/>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 世界の年間プラチナ・ジュエリーの需要は2021年に回復することが示されている。その需要は200万オンス超に達し、前年同期比での成長は13%、すべての主要市場にわたり取引が改善する。詳しくはプラチナ豆知識「「時」めくプラチナ」（2021年3月31日）をご覧ください。  
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/03/31>



(@wpicjapan)